

平成 28年度 高松市事務事業評価表 (事中・事後評価)

事務事業名	男女共同参画社会推進事業		
部 局 名	市民政策局	課(室)名	男女共同参画推進室
		電話番号	087-839-2275

【事業全体概要】まちづくりの目標：心豊かな人と文化を育むまち

総合計画	政策	男女共同参画社会の形成		主体	市
	施策	男女共同参画の社会づくり		期間	平成 20年度～平成 27年度
	基本事業	男女共同参画意識の啓発		総事業費	49,617
重点取組項目				特定財源	国 県 市債 他
関連根拠法令等					
事業区分	自治事務	種別	事中・事後	一般	46,796
事業種類	補助				

事業の概要
男女共同参画都市宣言(平成9年12月18日)の趣旨を踏まえ、社会のあらゆる分野に男女が共に参画し、個性豊かで充実した人生を送ることができる男女共同参画社会づくりを目指し、関係機関や関係団体と連携・協力して各種行事を実施するなど啓発活動を行う。

【事業の目的と指標】

対象	高松市民	対象指標名	高松市の人口
手段	男女共同参画週間や市民フェスティバルなど、様々な機会に、男女共同参画社会に関する各種啓発行事を実施する。	活動指標名	男女共同参画週間事業の開催日数
意図	男女共同参画社会に関する理解を深める。	成果指標名	事業に対する満足度(アンケートなど)
結果	市民が男女共同参画に関する理解を深め、男女共同参画社会の形成が促進される。	効率指標名	事業費10万円当たりの男女共同参画週間事業の開催日数

【指標値および事業費の推移】

指標名	単位	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	目標値	目標年度
対象指標	人	426,000	427,000	427,000	409,000	
活動指標	日	5	5	5	5	
成果指標	%	82.9	87.9	87.1	98	
効率指標	日	1.11	1.05	1.26	1	
トータルコスト	[千円]	6,329	5,023	4,485		
(事業費)	[千円]	1,261	1,332	1,414		
(職員人件費)	[千円]	5,068	3,691	3,071		

【環境変化等】

開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
昭和63年の「高松市女性行動計画」策定以来、女性の社会参画や女性問題の解決等、男女共同参画社会づくりに取り組んでおり、なお一層、市民の理解と啓発を促進するため、平成9年に男女共同参画都市宣言を行った。	男女共同参画都市宣言(平成9年12月18日)の趣旨を踏まえ、男女共同参画社会づくりを目指して、関係機関や関係団体と連携・協力し、啓発活動を行っている。	男女共同参画に関する意識はある程度浸透してきているものと思われるが、十分ではない分野もあるため、更なる啓発活動が必要である。	市民満足度調査結果及び講演会等の際に実施するアンケート結果を踏まえながら、啓発活動を行う。

【妥当性評価】

1. 事業の実施主体として市の関与は妥当か
A 法令等により市が実施しなければならない 男女共同参画社会基本法において、「地方公共団体は、基本理念にのっとり、男女共同参画社会の形成の促進に関し、国の施策に準じた施策及びその他のその地方公共団体の区域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する」と規定されている。
2. 事業の上位目標である施策に貢献しているか
A 貢献度が大きい 啓発活動を行うことで、男女共同参画に関する意識啓発を行うことができ、男女共同参画社会の形成を促進させることができる。
3. 成果を上げるため、またコストを削減するため、対象あるいは意図（目指す状態）を拡充・縮小する必要があるか
B 必要性は中程度 男女共同参画社会の形成を促進するためには、より広く市民に対して啓発を行う必要がある。
4. 事業を廃止・休止した場合に影響があるか
A 影響は大きい 事業を廃止・休止すると、市民への啓発活動が行えないため、男女共同参画社会の形成に向けた推進力が後退する。
5. 市民協働の実施状況はどうか（どのような市民参画・市民活動との連携等を実施したか）
B 事業にNPO、市民団体等が参画している 男女共同参画週間中の行事や市民フェスティバルの行事については、NPO、市民団体等の参加・協力の下、幅広く啓発活動を行っている。

【有効性評価】

6. 事業の成果（成果指標値）を向上させる余地はあるか
B 向上余地が考えられる（中小程度） 広く啓発活動を行うことで、市民が男女共同参画に関心を持つことができれば、成果指標を向上させると考えられる。
7. 事業執行上の見直しを行ったか（昨年度何か業務の見直しを行ったか）
A 実施済み / 実施する必要がなかった 男女共同参画週間において、平成26年度から街頭キャンペーンを実施し、効果的な啓発を行っている。
8. 成果目標値に対する実績値（達成度）はどうだったか
C 概ね達成できた 男女共同参画週間中に行った講演会及び法律講座における参加者に対するアンケート調査では、内容が「とてもよかった」、「よかった」と回答した人が87.1%と前年度より0.8ポイント減少したが、ほぼ昨年と同等の割合であった。

【効率性評価】

9. 成果を達成するための活動量（活動目標値に対する実績値）はどうだったか
B 目標どおり達成できた 講演会の案内状を市内事業所にも発送するなど、広く参加を呼びかけたことから、講演会、法律講座への参加者数は183人の参加を得た。
10. コスト縮減ができたか
C 少し縮減できた 男女共同参画市民フェスティバル実行委員会に対する補助金について、男女共同参画センター開館20周年記念行事のため、増加があったものの、コスト縮減に努めた。

【一次評価】

評価区分	継続																									
女性活躍推進法が全面施行されるなど、女性の活躍推進が強く求められる中、本市では、第4次たかまつ男女共同参画プランに基づき、男女が共に活躍する活力ある社会を目指しており、男女共同参画に関する市民の意識を深め、定着させることが大切であることから、事業の継続実施は適当である。																										
	改革案	期待効果																								
内容	街頭キャンペーンについて、男女共同参画に関する市民の認識が深まり定着するよう、より効果的な内容を検討する。	特になし																								
		阻害要因																								
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									

【二次評価】

評価区分	継続
男女共同参画社会の形成を推進するために、事業を継続実施することは適当である。	